

施策の体系

以上の公共交通の問題・課題を踏まえた安平町地域公共交通網形成の基本的な考え方と基本方針、施策メニューの体系は以下のとおりです。

《基本的な考え方》

- ・ 交通拠点の創出による地域公共交通網の利便性向上と町内の回遊・交流空間を促進する交通体系の構築を目指す
- ・ 町民の足を守るため鉄路を維持・確保し、これを補完する地域内循環系統、デマンドバス等の町内を運行する公共交通の位置付けを明確にする

【基本方針①】

地域内循環系統の効率化

JRの空白時間帯を基本とし、せいこドームバスと路線バスの統合による町内4地区を循環する新たなバス路線の運行を検討し、町内の回遊性を高めます。

【基本方針②】

デマンド交通の効果的運行

JRのダイヤに合わせた運行時間の配慮、利用者の少ない便の効果的運用等、デマンド交通の効果的運行を検討し、町内の移動を支える交通サービスとして質的向上を図ります。

【基本方針③】

利用促進策の検討

JRとバスを併せた総合的な時刻表や路線図の作成による効果的な情報の発信、説明会の開催、買い物割引制度の検討など、町民の利用促進策を検討し、公共交通の確保・維持に努めます。

【基本方針④】

町民協働による意識醸成

ノーマイカーデーの設置、バス停・待合拠点の美化活動、意見交換会の開催等、町民協働による取組を検討・実践し、身近な存在としての意識醸成を図ります。

基本方針				施策メニュー
①	②	③	④	
		●		1.My時刻表、総合時刻表、路線図の作成と提供
		●		2.乗継割引・買い物割引の検討
●				3.立地予定の道の駅などの集客施設への立ち寄り(町内・町外からの回遊・交流促進) ⇒ 停留所の設置や時刻表の工夫などによる回遊・交流促進
		●	●	4.説明機会の創出、個別訪問の実施など、町民対話型による公共交通の検討 ⇒ 利用者の少ない地域や効率性に配慮した合意形成に基づく中長期的な検討
		●		5.部活動や少年団の利用に向けた働きかけ
		●	●	6.ノーマイカーデー、イベントの検討
		●		7.高齢者運転への対応として免許返納時の期間限定割引サービスの検討
	●	●		8.あびらチャンネルによる情報発信 ⇒ 地域に応じたデマンドバスなどの情報発信・子ども利用に係る情報発信
		●		9.町民協働による「私たちの公共交通」意識の醸成 ⇒ 待合拠点の美化活動など、施策4や6とも一体的に検討
●				10.せいこドームバスの利用形態と便数の維持を基本とした更なる効率化策の検討
●				11.せいこドームバスと循環線の統合による新バスの運行
●				12.JRの運行ダイヤに配慮した補完型の地域内循環系統の運行 ⇒ JRの空白時間帯を基本とするバス交通の運行
	●			13.高齢者の通院支援 ⇒ 土曜診療への対応検討(平日便を減らして運行曜日を増やすなど中長期的に検討)
	●			14.病院の帰り時間の対応 ⇒ デマンドバスの病院の立寄時間の明確化の検討 ⇒ デマンドバスのキャンセル受付時間の短縮を検討
	●	●		15.待合空間の環境整備を含めた町民が利用しやすいデマンドバスの実現 ⇒ 待合しやすい空間の創出、停留所の表示改善
	●			16.町民目線の柔軟な対応 ⇒ デマンドバスの登録や予約のきまりの柔軟化の再検討
	●			17.JRやバス(地域間幹線系統)との接続性を考慮したデマンドバスの運行
●		●		18.新バスとの共存によるJRの維持・確保 ⇒ 公共交通の共存を基本とした施策展開
●		●		19.新バスの導入によるコスト縮減から安平町-南千歳間のバスの増便を検討
		●		20.増加が見込まれる高齢者のための情報提供